

編集後記

著者	森岡 次郎
引用	人間科学：大阪府立大学紀要. 14, p.73-73
その他のタイトル	Editorial
URL	http://hdl.handle.net/10466/16332

編集後記

『人間科学』第14号をお届けいたします。今号では論文2編と研究ノート1編を掲載することができました。執筆者の方々には、貴重な研究成果をご寄稿いただき、ありがとうございました。また、ピアチェックをご快諾いただいた先生方にも、ありがとうございました。

第13号(前号)より「研究ノート」という原稿種を新設いたしましたが、今回掲載されているものが『人間科学』の研究ノート第1号ということになります。そして、ご投稿いただいたのは社会福祉学分野の吉田直哉先生です。編集委員会(住友さん、前川さん、森岡)の審議により他分野の先生の論攷を掲載することができた、というのも、新たな試みとなりました。

めまぐるしい改組が続き、人間社会学部人間科学科が廃止となり、人間科学専攻は人間社会学専攻人間科学分野となりました。これから数年の内に、人間科学分野の多くの先生方が定年でご退職なされます。

教員数が減少し、退職者数と同じだけの採用がなされるかどうか不明な状況において、どのような形で『人間科学』を維持していくのか。たとえば大学院生からの投稿を受け付ける、他の紀要と統合する、といった議論を継続しています。

今号のように、近接する他分野、言語文化学分野や社会福祉学分野の教員の方々からも積極的にご投稿いただければ、本誌はより充実した内容となるはずです。投稿を希望される際にはお気軽に、編集委員までお問い合わせください。

各分野においても紀要は公刊されておりますが、人間科学の領域における学術研究の発信の場として、本誌をご活用いただければ幸いです。

(文責 森岡次郎)